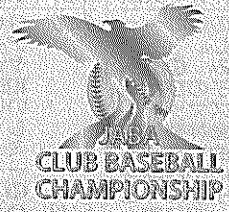


点0004000041000
 安112202010000
 打644445842001
 ク里山松井上永井島合田庄
 田本
 高今内山広村岩金竹大肥恩
 和④③⑥⑦D②H2

大和高田クV 7年ぶり



JABA CLUB BASEBALL CHAMPIONSHIP

最終日

社会人野球の第43回全日本クラブ選手権(毎日新聞社、日本野球連盟主催)は最終日の13日、埼玉・メットライフドームで準決勝と決勝を行った。決勝は、大和高田ク(奈良)が延長10回タイブレークの末に和歌山箕島球友会を降し、7年ぶりの4回目の優勝。11月に京セラドーム大阪で行われる日本

計 379.9

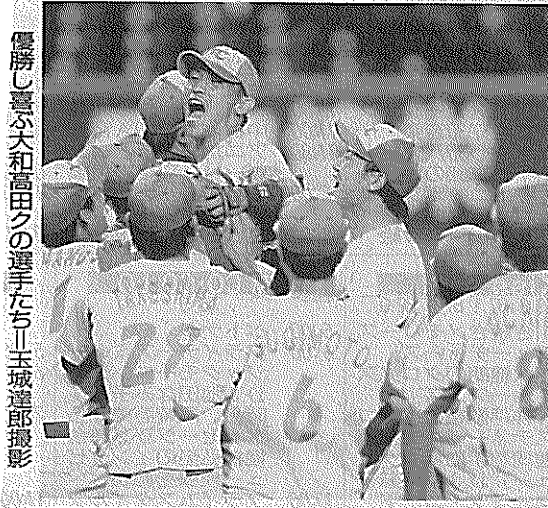
点	2200000102000
安	1200320101011
打	3555542220543
会	箕島友会 岸部山川田
球	黒池夏 渡富小山水富森
質	⑦⑥③⑤DHR②④⑧

計 3812.7

2	9	2	併
失	残	失	併
4	4	9	1
5	1	2	1
4	2	2	1
10	4	2	1
投	手	回	質
米	倉	1	1
本	野	4	3
太	村	0	3
松	林	3	3
和	田	5	6
北	面	4	3

▽二本
 竹島山田
 池部和
 渡部
 打15分
 異打
 本塁打
 三塁打
 三塁打
 三塁打
 三塁打

選手権の出場権を獲得した。表彰選手は次の通り。最高殊勲選手賞Ⅱ竹島貴大内野手(大和高田ク)▽敢闘賞Ⅱ和田拓也投手(和歌山箕島球友会)▽首位打者賞Ⅱ岩永幸大外野手(大和高田ク、15打数7安打、打率4割6分7厘)



優勝し喜ぶ大和高田クの選手たち。玉城達郎撮影

タイブレーク 雪辱を果たす

昨年の決勝と同じ和歌山箕島球友会が相手。大和高田クが雪辱を果たし、4回目の優勝をつかんだ。プロ野球の近鉄(現オリックス)でも指揮を執った佐々木監督は「これ以上ない喜び」と興奮しきり。

4点を追う三回、2本の安打と四球で1死満塁の好機を作った。打席の4番・広井は、相手のエース左腕・和田に対し、「チェンシアップが良いので、球を長く見られるように中堅方向に打つ意識を強めた」。3球目、真ん中のチェンシアップを

▽準決勝
 ウィン北広島(北海道)
 00000000000
 00000000000
 和歌山箕島球友会(和歌山)
 0010000000X1
 (ウ)吉田一長谷田(和)寺岡一水田
 全足利ク(栃木)
 000000001010
 0001000001021
 大和高田ク(奈良)
 (全)中田、小宮山、石崎、深沢(大)山本竜、金村、吉田行一豊庄

▽決勝
 大和高田ク
 10200110100319
 0500010000117
 和歌山箕島球友会
 (延長10回タイブレーク)
 (大和高田クは7年ぶり4回目の優勝)

中堅にはじき返し、2点を返した。五六回にも計2点を加えて追いつき、和田をノックアウト。タイブレークの延長10回、竹島の3ランで試合を決めた。「和田を打つために一年間練習してきた」と佐々木監督。昨年の決勝で、和田に九回まで2安打、無得点に抑えられ、タイブレークの末に敗れた。悔しい思いをした大和高田クの選手たちはバットを振り込み、打力強化に励んだ。和田との対戦を見据え、大会前から映像での分析も重ね、最高の結果へとつながった。

【真下信幸】